

登録コード	L1330400	開講年度	2026				
担当教員	菊池 聡			副担当			
授業科目	文化情報論特論Ⅱ(心理学統計法)【EA】						
英文授業名	Cultural Informatics: Special Seminar Ⅱ						
授業タイトル	文化情報論特論Ⅱ(心理学統計法)【EA】						
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	火曜・1時限
講義室			遠隔授業科目	該当	読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前カリキュラム対象】情報を適切に集約・分析・表現できる高度なメディアリテラシー			⇔	統計的な手法を用いて、情報を適切に分析し表現する統計リテラシーを身につけることができる。		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降カリキュラム対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門の学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			⇔	さまざまな調査や実験データを、記述統計や推測統計の手法を使って適切に分析できるようになる。		
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	原則として、リアルタイムのオンライン授業として実施される予定(【EA】科目) 前期の「文化情報論特論Ⅰ」で修得した推測統計学に関する基本的な考え方を復習した上で、そこから一歩進み、クロス表分析の拡張、分散分析法と実験計画法、重回帰分析と因子分析を中心とした多変量解析法のそれぞれについて、具体的な研究例を参照しながら、実践的な講義を行う。						
授業計画	1.前期の総復習 2.クロス表の分析 3.クロス表の拡張とエラボレーション 4.独立二群の平均値の比較 5.分散の等質性の検定 6.対応のある平均値の比較 7.標本抽出法 8.分散分析の基本 9.交互作用の理解と下位検定 10.実験計画法と多要因分散分析 11.分散分析法の応用 12.尺度構成・信頼性と妥当性 13.回帰分析から多変量解析へ 14.重回帰分析 15.因子分析 授業アンケート実施 16.期末テスト						
成績評価の方法	学習の達成度を確認するレポート課題を複数回実施する他、授業中にも理解度確認のための小テストを複数回行う。これらのレポートや小テストの得点をすべて加算して成績を判定(100%)する。形成的評価によって学習の支援を行うため、総合成績に占める個別の課題の割合は、実施回数と内容によって変わる。						
成績評価の基準	複数の課題成績から、統計手法をさまざまな場面で完全に使いこなせる応用的な情報リテラシー能力を身につけていることがうかがえれば「卓越している」、統計手法を広く応用的・実践的に使いこなせることがうかがえれば「かなり上にある」統計手法を研究の場で適切に適用できることがうかがえれば「やや上にある」、人文学の研究に十分な統計技法への理解がうかがえれば「水準にある」と評価する。						
事前事後学習の内容	次回の授業に向けて事前学習すべき内容を毎回指示するので、それに従い確実な学習を行うこと。						
履修上の注意	原則として、リアルタイム・オンライン(zoom)授業【EA】で実施する。ただし、最終試験を含め複数回の教室(対面)授業回も予定する。 内容的な注意点は前期「文化情報論特論Ⅰ」と同じ。前期開講のⅠが基礎編であり、そこで履修したことを前提知識として、後期は高度な内容へと進む。したがって、後期の履修にあたっては、必ず前期の同科目を履修しておくこと。前年度に後期のみ未習(もしくは単位未取得)で、今年度後期から参加希望者は、後期の授業開始日2週間前までに必ず教員に連絡して、最初の課題指示(前期の授業内容の復習課題)を受け取り、締切までに提出すること。後期の初回は、復習課題の解答解説(オンライン)から始める予定。 学生のレポートなどの提出物は、改善点などの参考にするため、授業内で互いに公開(原則として匿名公開)し、検討の対象とすることがあるので、それを前提に作成すること。 小テスト課題やレポート課題において、学生が自らの思考力を伸ばすという授業目的に反して、生成AIを						

履修上の注意	「不適切に使用」と判断された場合には、本授業の成績は0点とし、単位は認定されない。 本科目は社会調査士資格取得に関する科目である。
質問、相談への対応	授業内容についてはeALPSの質問フォームを利用。その他の個別の相談内容は、担当教員・菊池のアドレス skikuch@shinshu-u.ac.jpへ。 ただし、多数の授業を担当するため、個人や授業の識別ができない記述になっているメールについては返信しない。
教科書	『入門はじめての統計解析』 石村貞夫著 2400円 東京図書 (2006)
参考書	「心理学のためのデータ解析テクニカルブック」 森俊昭・吉田寿夫 (1990). 北大路書房